

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 5月 7日

所属・職名	会計ファイナンス研究科 教授	氏名	吉田 寛
研究課題	継承財に係わる会計報告について		
研究キーワード	会計、複式簿記、継承財、獲得財、分業。私有財産制	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>会計は、市場を成立させるための不可欠の要素であり、どのような情報が必要かは、そこにある人間関係から規定される。</p> <p>2019年度は『市場と会計』として、これまでの研究成果を春秋社から公刊することができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>吉田寛『市場と会計』春秋社 2019</p> <p>3. 主な経費</p> <p>資料収集、資料整理、原稿作成に使用した</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>『市場と会計』については</p> <p>村田稔雄 横浜商科大学名誉教授より 推薦の言葉を頂戴した。</p> <p>また、以下の書評がある。</p> <p><b>人類史の中心に会計あり！会計からみる資本主義経済</b>  <b>蔵 研也</b>（岐阜聖徳学園大学経済情報学部准教授）  <a href="https://haruaki.shunjusha.co.jp/posts/2240">https://haruaki.shunjusha.co.jp/posts/2240</a></p> <p><b>「会計に無知」な経済学の大家が断罪される理由</b>  <b>箱田 順哉</b>：実践コーポレートガバナンス研究会理事、公認会計士  <a href="https://toyokeizai.net/articles/-/307824">https://toyokeizai.net/articles/-/307824</a></p> <p><b>書評</b></p> <p>山本守之(税理士)『企業会計』中央経済社,2020年2月号</p> <p>田中孝男九州大学法学研究院教授『自治実務セミナー』第一法規,2020年2月号</p> <p>松下芳男千葉商科大学名誉教授『政策法務』第一法規,2019年 Vol.64</p> <p>菅原敏夫 自治研編集員『月間自治研』自治研,2019,vol61.</p>			
(本文は1ページ以内にまとめること)			